

深い人間性を養う介護体験を人と社会の成長に そして、介護現場の脱3Kにも貢献したい

人を成長させる介護現場

「スピでガチ」。ソーシャルビジネスگرانプリ2014冬のグランプリ受賞者・福島見容さんの生き方だ。スピはスピリット精神志、理念で、ガチはガッチリやガチンコのカチ。

福島さんのスピは、「介護体験を通して未来の自分に触れ、思いやりや繋がりを大切に社会を創る」というもの。きっかけは3年半前、夫の将司さんが介護職へ転職したこと。本人がやりたかった仕事なので賛成はしたけど、大変な職業というイメージがあったので、正直不安もあった。しかし、将司さんを通して知る介護の世界は、驚きに満ちていた。命の終末に寄り添うことは、人が生きる尊さや、魂の永遠を感じずにはいられない。老いたり障害を持った自分も容易に想像できる。人間性を深めてくれる素晴らしい現場ではないか。

シリーズ
社会起業家

NPO法人みらいびと（設立準備中）

福島見容氏に聴く



本業は人材育成コンサルタントだが、ヘルパーの資格を取得し、実際の介護を通して、感動的な体験を積んだ。ただ、第三者として見た介護現場は、CS顧客満足に比べてES従業員満足意識が遅れている。介護の素晴らしさを感じていた人が、心が擦りきれて辞めていく。年中募集をして、コストがかかる。常に人手不足でしんどくて儲からない悪循環。だから3Kに見える。福島さんには、経営者にも従業員にも、

もちろん利用者にも、より魅力的な介護の姿が見えている。夫を通して介護の尊さを感じた自分の体験を、どうやって人に感じてもらうか。そのノウハウはプロとして持っており、介護現場の方々と連携してプログラムを開発中だ。

もう一つは情報発信。従来と違った介護の側面を紹介していきたい。盲目体験をアトラクション化した暗闇研修が話題になっているが、楽しみの中の気づきという切り口はぜひ参考にしたい。また、

グランプリの副賞である生涯学習開発財団の助成金を得た福島さん。取材前にも財団のホームページを見てくれた。「学びは、個人も社会も豊かにする」というキャッチフレーズにすごく共感しました。私の体験から、大人の学習には学べる感性が必要だと感じています。日々の生活の中からも常に気づきを得る気持ちを大切にしていきたいです」

■連絡先
Mail : miyo-fukushima@beintegral.net

■福島見容のスピでガチな生き方
ブログ : www.spi-gachi.com
Facebook : www.facebook.com/spi.gachi

現場の声をデータベース化し、行政や自治体との連携にも役立てたい。

研修やコンサルティングをしていく中で当然必要とされてくる「介護をする人をケアする人材」。それを資格化し、養成講座なども展開したい。そこには介護現場のOBからも人材として活用できる。将来的には、理想の介護・研修施設を運営することも視野に入れている。

スピとガチは事業継続の両輪

グランプリ獲得の後、いろんなことが回り始めた。少し浅かったかもという理念と方針が、より明確になった。本事業のために設立する（NPOみらいびと）の設立準備も整った。理事には、社会起業大学の田中理事長や、介護の道40年の尊敬する某施設長など、なってほしいと思っていた人たちが快く引き受けてくれた。テレビで取材・放映されPRのネタもできた。自分一人で回して来た人材育成事業に専任スタッフを置き、NPOと合わせて新しいオフィスを開設した。いま、福島さんのガチが順調に見えるのは、もちろん周りの人を動かすスピの力があるからだ。